



シリーズ
タンチョウ
Vol. 355

鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ

櫻井真弓

〒085-1205 鶴居村中雪裡南 ☎64-2620/FAX64-2239

鶴居 タンチョウ

検索



長沼町×鶴居村 タンチョウ子ども交流ツアー 2024

KODOMO湿地交流つるい委員会では、鶴居村の子どもたちの自然体験・交流の機会を設けようと、村からの補助を受け、小中学生を対象に毎年子ども行事を行う「KODOMO湿地交流」に取り組んでいます。昨年度に引き続き、今年度も長沼町の子どもたちと「タンチョウ子ども交流ツアー」を実施しました。

まず、8月の長沼編では、鶴居の子どもたちと長沼町に行きました。田んぼで過ごすタンチョウの様子を観察し、タンチョウの見守り活動を続けているお米農家の方からは、稲作のことやタンチョウへの思いについてお話を聞きました。鶴居とは違う環境で暮らすタンチョウのことを知り、そのタンチョウを見守る人たちの思いに触れることができました。

長沼町の子どもたちが鶴居村を訪れる鶴居編は、10月5、6日に開催しました。タンチョウ観察のために乗り込んだバスの車窓から、デントコーンの刈取り後の畑に集まるタンチョウを見つけて、歓声を上げる子どもたち。そのあと、実際に望遠鏡や双眼鏡で、刈取り後の畑で餌を採るタンチョウの行動を観察しました。観察終了後は、農家さんの許可を得て刈取り後の畑に入りコーンが落ちているのを確認しました。望遠鏡でタンチョウが畑を突いている様子を観察した後なので、タンチョウが餌を採るために畑に集まっているという理解が深まったと思います。刈取り後のデントコーン畑では、畑探検と銘打って株を抜き取ったり堆肥山に登ったりと、鶴居村の子も長沼町の子も一緒になって楽しい時間を過ごしました。

長沼編ではお米農家の方のお話と水田でのタンチョウ観察でしたが、鶴居村ではデントコーン畑の後は酪農家さんのお話です。多忙な毎日だけでも牛が元気に育ってくれることが仕事のやりがいと笑顔で話して下さいました。また、農場に来るタンチョウ家族を大切に見守っていて、そのタンチョウ家族が縄張りを構えているので、悪さをする他のタンチョウを敷地から追払ってくれるという話は、子どもだけでなく大人も引き込まれました。畑探検に農場見学は、子どもたちにとって素晴らしい学びの場になりました。ご協力いただいた農家の皆様、本当にありがとうございます。



完歩の達成感で笑顔がいっぱい
10月6日 キラコタン岬

2日目には、タンチョウ再発見の地「キラコタン岬」にも行きました。タンチョウを守った凍らない湧水の話、ヤチボウズや川の蛇行…。説明を聞きながら、みんなで楽しく歩きました。タンチョウを通じて釧路湿原についても知ることができました。

今年度の交流事業に参加した子どもたちは、鶴居村と長沼町の農業や自然環境の違いを知ることができたことでしょうか。そしてどちらの町村でも、人の近くで暮らすようになったタンチョウが、人々に見守られながら生きていることを感じてくれたと思います。